



りすぐみだより 夏号



セミの鳴き声が盛んになり、眩しい太陽の陽ざしと共に本格的な夏がやってきました。

子どもたちは沐浴にも慣れ、タライの中の温水の中で水の感触を味わっています。気温や体調に合わせて無理なく夏の遊びを楽しもうと思います。



【つかまり立ちができるようになったよ!】

手足の筋力がついてきた子どもたちは、柵や木製トンネルにつかまり、足を踏ん張って立とうとしています。つかまり立ちができると「できた!」と言うように、保育者の方を向きます。「すごいね! 立てたね」と声をかけると満面の笑みを見せ、玩具を手に取り遊び始めます。

また、他のクラスの子が「赤ちゃんだ〜」と手を振っていることに気付くと、つかまり立ちをして、ニコッと笑いながら扉を叩いています。



親子で絵本を楽しもう

絵本は、親子の時間を豊かにしてくれるコミュニケーションツールです。読み聞かせは、親と子の距離をぐっと縮めてくれますね。

Q. 絵本はいつから、どんな絵本を読んであげるといいの?

A. いつでも、読んであげたいと思った時が始め時です。赤ちゃんでも、絵本はコミュニケーションや言葉がけのツールの一つとして有効です。最初は表現のおもしろさを感じられるものや、絵がわかりやすく、動物や食べものなど身近な物が描かれているものがおすすめです。

Q. 絵本をかじったり、舐めたり、破ったりしてしまう…

A. 赤ちゃんにとっては、気になるものはかじったり舐めたりして確かめたいので仕方ないことです。まずは、布絵本やボード(厚紙)ブックなど、破れない絵本からスタートしてみましょう。



Q. 絵本のページを勝手にめくってしまい、最後まで聞けない…

A. ページを勝手にめくってしまうのは、絵本に興味を持っている証拠です。まずは“読む”のではなく“めくる”ことを一緒に楽しみましょう。

読み聞かせの時は、膝の上でするのがおすすめです。体温・鼓動など、子どもの背中から自分のお腹にダイレクトに伝わります。子どもと絵本の世界を共有し、素敵な時間を過ごしてくださいね。

